

## 令和4年度第1回瑞穂市社会教育委員の会 会議録

1. 開催日時 令和4年5月27日（金）午前9時30分

2. 開催場所 瑞穂市巢南庁舎3階 3-2会議室

3. 出席委員数 7人

4. 出席委員 井深 吉男 委員

山本 邦宏 委員

長屋 正治 委員

松野 守男 委員

宇野 睦子 委員

広瀬 政博 委員

辻 正益 委員

5. 欠席委員 上野 邦子 委員

6. 本会議に職務のため出席した事務局職員

教育長

服部 照

事務局長

佐藤 雅人

生涯学習課長

松島 孝明

生涯学習課総括主幹

広瀬 久士

生涯学習課総括主幹

佐藤 文行

図書館長

泉 大作

7. 日程

1 教育長あいさつ

2 委員・事務局自己紹介

3 議事

(1) 令和4年度社会教育関係者名簿について

(2) 令和4年度瑞穂市社会教育の方針と重点について

(4) 令和4年度瑞穂市の主な生涯学習事業について

(5) 社会教育委員としての事業分担について

4 意見交流

5 お礼の言葉

8. 審議の経過

井深委員長 それでは議事を進めていただきますのでご協力のほどよろしく申し上げます。

議事の1番目令和4年度社会教育関係者名簿についての報告を事務局の方からしていただきます。お願いします。

生涯学習課長 令和4年度の社会教育関係者につきましてご報告をさせていただきます。資料の4ページをご覧くださいと思います。令和4年度社会教育関係者名簿(1)といたしまして文化財保護審議会の委員、10名です。続きまして(2)の青少年育成推進指導員・推進員9名です。(3)の子どもの読書活動推進会議委員12名です。続きまして(4)のスポーツ推進員26名でございます。各委員さんはこの表の通りとなっております。

続きまして5ページに社会教育推進員、こちらは120名ですね。こちら一覧となっております。本年度の社会教育関係者の報告を終わります。

井深委員長 続いて議事の2番目、令和4年度社会教育の方針と重点について。議事3主な生涯学習事業についての報告を事務局からお願いします。

生涯学習課長 令和4年度社会教育の方針と重点につきましては私の方からご説明の方をさせていただきます。生涯学習に関わる事業の方を広瀬総括主幹から、図書館に関わるものは泉館長、文化、スポーツに関する事を佐藤係長の方がご説明させていただきます。

それでは資料の7ページをご覧くださいと思います。こちら瑞穂市の社会教育の方針と重点でございます。大きく2つございます。人づくり、まちづくりということで大きな二本柱の方で進めております。まず人づくりにつきましては、学習、文化、スポーツそれぞれ事業を行っております。まちづくりにつきましても住民による主体的なまちづくり、あと家庭、学校、地域社会、各種団体が一体となって青少年健全育成を目指すまちづくりということで進めております。

重点とする項目といたしましては、いつでもどこでも誰にでもあいさつができる瑞穂の子の育成ということで、「あいさつのまちみずほ」。2つ目といたしまして、本に親しみ、本を楽しみ、本に学ぶみずほの子の育成ということで「読書のまちみずほ」、この2点を大きな重点として進めております。

では生涯学習の方を広瀬総括主幹お願いしたいと思います。

広瀬総括主幹 お願いします。8ページをご覧ください。生涯学習係が担当しているものについて私から説明させていただきます。生涯にわたって学び続ける人づくりについて、(1)今年度の主催事業といたしまして親子感動体験事業くぼたまさと工作ショー、10ページにチラシがございますが、親子と一緒に工作を楽しむための事業であります。それから文化講演会につきましては後程事務局長よりお話をさせていただきます。

ネオクラシックコンサートです。11ページにこれは仮のチラシであります。今年度はオペラ現代版フィガロの結婚です。昨年度この社会教育委員の会で検討いただき、若い世代の方にもクラシックに触れてもらうための企画であります。この12月11日に総合センターで行うわけですが、その前に小中学校へのアウトリーチ活動も取り入れて、この当日小中学生にも参加していただけるように企画しております。

それからみずほ演劇祭ですが、これからちょっとまだ詰めていくところが多いと思いますが、1月から2月に開催する予定であります。

(2)の市民自主講座です。今年度20講座を開設しまして、160名ほどの方に受講していただいております。18から20ページの方に市民自主講座の一覧があります。自主講座は3年で独立していただき、サークル化していただくようお願いをしております。

(3) の瑞穂大学の寿学部、女性学部、脳力活性学部です。寿学部は 60 歳以上の男女を対象、女性学部は成人女性を対象で開設しております。脳力活性学部においては 60 歳以上の男女を対象として、少人数での学びをしております。

年間予定につきましては資料 33 ページから 37 ページの方に記載しております。後程提案させていただきますが、今年度皆様にはこの瑞穂大学の各学部の講座について、来年度からの在り方について意見をまとめていただくようお願いいたします。

続いて (4) フュージング教室ですが、美来の森の方の工房で実施しております。子ども会などから体験依頼が多く、対応していただいております。

(6) 子どもの読書活動推進です。今年度も子どもの読書活動推進会議を行い、子どもたちが本により親しむことができるよう議論をしていきます。本会議には井深委員長さん、宇野委員さん、辻委員さんにも参加していただいております。よろしく願いいたします。ここでは昨年度策定いたしました第三次子どもの読書活動推進計画に基づいた取り組みの進捗状況を把握し、より良い取り組みを検討していきます。

(7) 家庭教育学級についてです。今年度保育所、幼稚園、小中学校 15 学級が開設予定です。親子で読書に取り組むなどの在宅型の取り組みを中心に計画していただいております。

(8) 人権教育の推進についてです。市内の各学校において人権教育研修会を開催していただくための講師料の補助を行っております。

続いて地域で役立つとする人づくりについて、文化協会の支援をしております。文化協会の事業につきましては 15 ページをご覧ください。

続きまして住民による主体的なまちづくりについてです。自治会活動、校区活動を基盤とする地域コミュニティ活動の推進ということで、先ほど井深委員長さんのご挨拶にもありましたように、それぞれの活動を今年度は、各校区で感染防止対策をとって実施する動きが出ております。今月も 15 日の日曜日に本田校区ではウォーキングイベントが行われました。

最後の家庭、学校、地域が一体となって青少年健全育成を目指すまちづくりについてです。1 つ目の瑞穂総合クラブです。土曜日の教育活動として小中学生を対象にしたスポーツ、文化講座です。今年度 3 年ぶりに開講いたしました。資料 27・28 ページに講座がありますが、例年ですと 30 ほどの講座がありますが、今年度については感染リスクが低いと考えられるものを開設しており、240 名ほどの子どもたちが地域の先生から教えていただき、自分で選んだ体験活動を行っております。

2 つ目、青少年育成市民会議です。これまでの市民会議の成果を活かしつつ、所属団体において活動の充実を図っていきたいと考えております。29 ページに市民会議の事業計画がございます。先日市民会議三部会を行いました。市民ラジオ体操の日、あいさつ運動の日、地域安全の日の取り組みを中心に、より活動が充実するようにご意見をいただいております。

最後に二十歳を祝う会についてです。今年 4 月の民法改正により、18 歳が成人となったため、これまでの成人式から二十歳を祝う会に名称を変更します。これをよい機会とし、式典の部分、そして祝う会の部分を分けて考え、特に後半を実行委員会による手作りの会にすることで、さらに大人としての自覚を深める。思い出に残るよい会にしたいと考えております。ご案内をさせていただきますのでご臨席をお願いいたします。

以上で私からの説明を終わります。

泉館長　　続きまして図書館に関する事業についてご説明をさせていただきます。8 ページをご覧ください。(5) 図書館機能の充実と市民への学習機会の提供と支援です。

①のところですが、市役所や学校、他の機関と連携しまして、情報拠点として機能する図書館を目指しております。a のところで市役所や他の機関と連携した事業を行っていきます。そのほかに読書サークル活動とか、読み聞かせボランティアの方がおみえになりますが、その活動も支援してまいりたいと思います。先日5月11・12日に、PTAの方を対象にしました読み聞かせボランティアの研修会を行いました。

e の魅力ある図書館事業の実施ということで、通年事業で行きますと、本館、分館でお話の会というものを行っております。また本館におきましては映画鑑賞会ということで、集まっていただいて映画を見ていただくといった事業も行ってしております。映画鑑賞会につきましては、先日の5月11日に行いました。

それから特別企画といたしまして、子どもの読書週間、夏休み等に合わせまして、事業や講座の開催をします。

それから今年度竣工いたしました中山道大月多目的広場サンコーパレットパークと連携したイベントを開催する予定でおります。これも後程企画の予定の事業として説明をさせていただきます。

②の地域の課題解決や調査、研究の支援で、図書館におきまして郷土資料の収集ということで、本館におきましては一般図書、児童書、郷土資料や行政資料の収集・保存を行います。分館におきましては、子ども図書館というところから子育て支援関係の図書、児童書の充実ということで行っていきます。

続きまして12 ページをご覧ください。こちらは令和4年度の図書館の主要事業です。まず令和3年度の利用状況についてご説明させていただきます。

まず来館者数ですが、全体で142,964名の方に来館をしていただいております。1日当たりにしますと本館が371人、分館が185人です。貸し出し者数は7万4千694人で、1人あたりには御覧の通りであります。貸し出し点数は40万7千503点で、こちらは蔵書のほかに視聴覚のものを含めた点数です。それから蔵書の冊数ですが、249,322冊です。

それから昨年は8月の24日から9月の30日までをコロナ感染のまん延防止等の重点措置ということで臨時休館をしております。本館では、予約本の貸し出しサービスは行いました。

それから図書館の企画事業ということでご覧の事業を予定しております。まだ確定はされておりませんが、夏休みの特別企画ということで、わくわくサイエンス教室、なるほど地図教室、こちらを7月8月に開催する予定でございます。

それからその他の欄で読み聞かせ講座、バルーンアートのパフォーマンスショーということで6月を予定しております。

それからその他の絵本作家の講演会ということで、揖斐川町在住のひぐちみちこさんという方に読み聞かせを中心にご指導していただける先生をお招きしまして講演会を開催する予定です。こちらはまだ調整中であります。

それから連携ということで、サンコーパレットパークのイベント、こちらの方で先ほ

ど冒頭にこのチラシをお手元に配布させていただきました。6月の4・5日にキッチンカー&マルシェみずほピクニックということでキッチンカーが来まして、そこでイベントを行う予定であります。その中で図書館事業を絡めた事業で、読み聞かせと児童書の展示をその一角で行いたいと思っております。子ども向けになりますけれども、その予定でおります。私からは以上です。

佐藤係長 失礼します。続きまして、スポーツ文化係長の佐藤よりスポーツ・文化につきましてご説明をさせていただきます。まず8ページの生涯にわたって学び続ける人づくりということで9ページご覧いただきまして一番上(9)の生涯スポーツの振興でございます。

まず、①のファミリーハイキングですが、5月21日にすでに実施しております。資料25ページの方をご覧いただきたいと思いますが、21日土曜日は少雨でございましたけれども無事行うことができました。教育長さんのご挨拶にもございましたが、61名の参加ということで、大変好評でございました。

続きまして9ページ②の体育教室の開設ということで、リトミック親子体操教室の方を予定いたしております。サーキットトレーニング講習会ですけれども、こちらは3年度は中止、今年度もまだ再開のめどが立っていないという状況でございます。

③につきまして、スポーツ実施率の向上に向けての施策の実施ということで、ウォーキングコースの考案を昨年度行いまして、今年度市民への周知を考えております。

こちら資料13ページの方をご覧いただきたいと思います。生涯スポーツの推進に向けたスポーツ実施率の向上についてということで、成人の週3日以上スポーツ実施率、ウォーキングを含むということで、令和3年度瑞穂市のデータとしては58.4%の方がスポーツに親しんでみえるということですのでずいぶんと高くなってきていると考えております。

9ページにお戻りください。(10)の施設の充実ということですが、ご存知のとおり、サンコーパレットパークの方が今年の4月に竣工を迎えております。ただしまだ芝生広場はまだ芝生の養生中ということで6月1日からオープンということになっております。

先ほど図書館長よりご案内ありましたが、皆様のお手元にありますカラーのチラシです。6月4、5日、教育委員会が主催して行う事業ではございませんが、みずほピクニックと題して、キッチンカーを中心としたイベントを実施される予定になっております。

続きまして、地域で役立とうとする人づくりということで、(2)のところでございます。文化財の保存①といたしまして、郷土歴史研究指導員による郷土資料の収集、展示など、歴史文化についての学習支援を図書館とともに進めてまいります。

2番目でございます。市史編さん事業の推進ということで昨年度から引き続き推進している事業でございますが、いよいよ今年度発刊の予定をしております。現在印刷、製本業者の選定に入っております、間もなく契約ができる段取りとなっております。

続きまして(3)伝統文化の継承ということで、美江寺観世音お蚕祭り保存会や美江寺観世音しょうじょうばやし保存会、和宮遺蹟保存会、宮田の雅楽五音社等の支援をさせていただいております。本年度も引き続き支援をしていきたいと思っております。

続きまして、(4)生涯スポーツ・地域スポーツの推進ということで①として体育協会の支援ということで各種スポーツ大会の後援、体育施設の管理、利用調整を進めてまいります。

2番目といたしまして、スポーツ推進委員が考案したゲートゴルフの普及PRに努めて

まいります。

3 番目としまして、総合型地域スポーツクラブの推進ということでリンクアップみずほやぎふ瑞穂スポーツガーデンとの連携事業の方を進めてまいりたいと思います。

以上スポーツ文化係からのご報告です。

井深委員長 事務局の方から一括で事業計画についてありました。それから方針と重点についても課長さんの方からありましたが、この方針と重点、事業についてご質問等ございませんか。はい、松野委員さん。

松野委員 それぞれ計画に沿って進めていただいておりますけれども、いわゆる教育委員会の行事と、他部局の行事の情報交換が十分されているのかなというのが最近ちょっとある事例をもって感じました。

具体的に言いますと 1 つは、穂積中学校で去年からやっていますひまわりをあちこちに咲かせるという、これは生徒会が主導で始まった行事ですけれども、今年もやるということで、先日も校区の我々の総会のところにわざわざ PR に来ていただきました。校長先生からもご説明がありましたけれども。とは言いながら同時に実は瑞穂市でもうすでに「はるかひまわり」ということで種の配布がもう実行に移されているわけですね。それは企画部の方なのか、他部局ですね。

それぞれやっただいて結構なわけですけれども、1 つショックだったのは中学校に何の連絡もなかったと。去年からやっているのに、それもこれは先生が主体じゃなくて生徒会が主体でやっているんですね。だから 1 年目に我々の自治会の総会でも、去年の総会でも PR にみえて、全部が全部すべての自治会が協力的ではなかったのですけれども、かなり協力していただいてやっとスタートしたというところで、今年度もやろうとしていたところでもうすでに市の方が他部局でやっていた。内容的には同じような内容ですよ。ただ市長さんを先頭にやるぞというのと、3 つの中学校のうちの 1 つが中心になって地域で頑張っていこうというのと、言ってみれば中学生にしてみたら、せっかく僕らがやろうとしたのに、行政がいきなりガンっと上にかぶせてきてどういうことだろうという気持ちになってしまわないかなという心配があるんです。

行政にやっていただくのはいいのですけれども、やるならやるで中学校に相談してどうやっていこうと、同じことをやるのでどのように仕分けしてやっていくかというような話し合いがあっても、進めていただければよかったですけれども、残念ながら校長先生もご存知なかったという話です。だから非常に残念だなと思います。市役所の中で情報があればそんなことはなかったと思うんですけど。残念ながら。

井深委員長 情報交換をしっかり行っていないと。松野委員さんが言われた穂積中学校区なんですね。だから牛牧小学校もそれから穂積小学校も含めて、穂積中学校の活動の中でひまわり運動を生徒会を中心にやって、昨年からやっと立ち上がってやった矢先だったので、きっとそういう矛盾が出てきたんだと思うので、やっぱりそういうことは絶えず耳を広げて、情報を収集して、情報を交換できるようにしていただきたいと思います。

他の方はいいですか。宇野委員さん。

宇野委員 このみずほピクニックという、キッチンカーマルシェということで、前からこの委員会で何回もお話をしていましたけれど、この分館があるからそういう連携をするということで、図書館でも読み聞かせという事業がございますけれども、これがそうなんだという感じで、びっくりしたという状態です。芝生が6月から開放されることは前から聞いていますけれども、その中で例えばこれを見ていると、全部食べるものとか。そうすると本に対するなにかをここで、例えばリサイクルとか、そういう本に対するものが何かあったらいいのに。

例えば図書館でリサイクル本がありますよね。それをいつも秋にやっているんですけども、前倒しでこのときに出すとか、そういうなにか子ども向けといいながら大人も来ますので、そういう例えば私たちも断捨離していく中で本がいっぱい出てくると思うんですけど、実際に私もこういう業者に売りましたし、そういうのも例えば寄附していただいて、こういうせっかくイベントがあるから、その本に関するなにかこういうコーナーもあってもよかったかなというのは、ちょっとがっかりしたという感じで。食べるものとかそういうものは申し訳ないですけどどこにでもあるんですけど、せっかくそういう本とつなげるという意味で。

12ページの老人クラブ向け読み聞かせということでこれは初めての企画ですね。とても私は興味がありまして、私は老人クラブの役員もやっているんですけども、これは老人クラブからの申し出ですか。

泉館長 そうですね。宮田地区の方から総合政策課に依頼があり、それから図書館に来たというかたちです。

宇野委員 前に十九条の老人クラブで、むかい地蔵の紙芝居が展示されましたよね。その紙芝居を貸してほしいという話をしていた中で、貸し出しできるか検討するという話でした。老人クラブでも自治会でも、こういうのをやりますからで終わりというのではなく、老人クラブでもこういうことを紹介していただくとか、こういうのを貸し出しますよとか、大型絵本もありますよとか、そういうこともぜひ言っていただきたいと思います。

放課後児童クラブなどに本を貸し出しするだけではなくて、例えば老人クラブへ大型絵本があるということをお話をして、実際にもっていってもらって活用してもらえたらいいとすごく思います。

それから、最初の関係者名簿の中で、実際には、会議に出ていない人もみえるんじゃないかと私は思うんです。任期が2年であっても、例えば私がずっと体調が悪くて出てこられなかった場合、そういう打診をされて、やっぱり空席のまま協議をするんじゃないかと、出られないということが分かれば、じゃあどうするのかというところも、私たちにも報告がない。10名のうち9名で1名足りないんだな、どうなっているのかなというのがすごく気になったんですけども。

そういう点も、ただ同じように委員を集めて会議をやるのではなくて、限られた時間とか、期間の中でいろいろ審議をしていただくということもすごく大事じゃないかなと思います。

井深委員長 1つ目のこのみずほピクニック、これを図書館と連携してやりたいということです

ので、やはりいろんな方法あると思うんですけど、野外読書会とか、それから古本なんかを持ち寄ってそこで交換みたいな、本と本を交換するというような会を作ってみたり、いろいろアイディアは出ると思うんです。だからそんなことを考えて、せっかくの機会だから、読書により親しめるような企画をもう少ししてほしいというのが委員さんからのお願いです。

事務局長 すいません。チラシに載せてなかったので申し訳ないですけども、12ページのところで説明不足でしたけれども、連携のところ、その上のところに少し書いてあるんです。6月の4、5日の時に読み聞かせの方は行う予定にはなっております。ただこのチラシに載せてもらうのは間に合わなかった。

宇野委員 それはわかる。それはたぶん図書館でやられるんですね。

事務局長 いいえ、サンコーパレットパークに出向きます。

宇野委員 ならいいですけど、私これ図書館の中で読み聞かせやっているのかなと思って。

事務局長 今回は隣接ですので、分館の方から本を持って行って、パレットパークでやるという予定です。それをやってみて、今後6月から芝生広場もオープンしますので、イベントの時にできる限りパレットパークの方に出て行って、この読書活動をしていければなどと思っています。これはまた読書活動推進会議でいろいろご意見いただきながら、事業を展開していければと思っています。

宇野委員 その時に、例えばこの読み聞かせの中に野外でお母さんと一緒に何かやったけど、家の方で面倒が見られないとなるとそういうボランティアで母子推進委員さんが見えると思うんですけども、そういう人たちに呼び掛けてお願いできないかとかね。そういうこともやっぱり声かけられたらどうかと思います。

井深委員長 そういうことが十分にわかるようにね。伝えることがすごく大事ですね。私たち委員も錯覚してしまうので、別のところでやるとなってしまうので、錯覚しないようにちゃんとこのようにやるということを住民の方に伝えてほしいなと思います。

これも同じようで老人クラブ向けの読み聞かせ、なかなかこれいいアイディアなので、せっかくのアイディアなので、他地区に対してもどんどん広げていけるようにそんな方法をとってほしいと思います。

それから最後のご意見でしたけど、この4ページですか。関係者の名簿がここに載っているわけですけども、厳しい言い方だと、名前だけで出ていない人がいないかというの確認と、それから空白になっている人はどういう処理をしていくのかということのご意見でした。よろしくお願いします。

それから去年のこの会だったと思うんですが、2回目の。昨年コロナ対策でお金が市に入ったかどうかで、2千円ずつの図書カードを夏休み前に配って、大変好評だったのでぜひ続けてほしいという要望がこの委員会の中で出たと思うんですけども、それにつ

いてはその後どのような方向ですかね。

山本委員 つけたしでもよろしいでしょうか。そのベースのもとで学校の方でいわゆる子どもたちに本をもらえたということで、成果という形で夏休みにビブリオバトルという形でやらせていただいて、昨年度私が牛牧小にいたときに子どもたちがそれをものすごくおもしろかったと言って、新聞にも投稿した成果があるんですけど。

ただやっぱり社会教育としての立場の事業と、24ページに出ているビブリオバトルは半分以上が学校教育としての動きじゃないかなというのをものすごく感じます。予選会ってものすごく時間がかかるんですよ。その部分で学校教育の方で、やっぱりちょっと校長会の方でもかなり教育課程に組み込むのではないかという懸念が示されておりまして、この辺のところを、私どももできる限りは協力していきたいと思えますけれども、実際に担任がこれを、全部の子どもたちの作品を読んで、そのビブリオバトルの予選会をやるということはかなりの授業数を食われるなどということは事実ですので、その辺のところも配慮していただきたいと思えます。

事務局長 図書カードの件につきましては、去年国から新型コロナの関係の対策の交付金をいただけたのでやりましょうという話になったんですけども、今年度もコロナに対する交付金は来ました。ただ今年度につきましては、先ほど教育長の冒頭のあいさつにありましたけれども、今瑞穂市は保育園児の感染がなかなか減らないという話で、当然未満児の子はマスクをしませんので感染しやすい状況になるんですけども、そちらの感染防止対策が最優先で予算を組みましたので、図書カードの方の予算が今年はちょっと難しいかなと。

先日、国から第2弾ということで原油高と物価高騰の件でまた交付金をいただいています。本日、穂積庁舎の方でその予算の使い道を今検討していますので、そこでもし余裕があればということにはなってくるかと思えます。

ただ急がないと、去年も結局このコロナの交付金により図書カードの配付が夏休み前ギリギリでしたので、やるなら本当に早く、予算は議会の議決事項ですので、早く議決したとしても6月末が最終日ですので、その議決を待ってなので、そこはたぶんもしやるとしたらタイムリミットになってきます。

昨年ですと、だいたい1800万円ぐらいの予算がありましたので、それぐらいが確保できるかどうかということになってくるかと思えますけれど、この会の意見として市長には伝えておきます。

松野委員 関連でいいですか。ここのサンコーパレットパークがオープンということで、いろんなイベントが企画されています。体育協会でも各種団体がここを使って、いろんな大会とか競技会をやりたいという話が出ているんですけども、ただ音響設備が何もない。開会式をやるにしても、会を進行するにしても、これだけ広いところで音響設備が無いことには声が届かないということで、おそらくこの6月4、5日も実際に実施されて、そういう音響設備がないので困るなという体験をされると、経験をされると思えます。ぜひ設備を付け加えていただければありがたいと思えます。

井深委員長 音響設備ぜひ早急に設置をお願いしたいという体育協会からの意見です。

松野委員 もう1点ですね。今日の資料の中で、先ほどのひまわりの話にちょっと関連するんですけども、夏休みのくぼたまさとさんの親子工作教室、非常にありがたいことだと思います。実はこれもまた校区活動なんですけれども、穂積小校区のわくわく活動委員会では、ずっと二十数年来夏休みに親子工作教室を実施しています。それと今回のこのイベントとの調整というか情報交換がされているのかなど。先ほどと同じことです。それぞれが勝手にやっていたらいいんだというものでもあるんですけども、やっぱり同じようなダブる部分もありますので、ぜひ情報交換していただきたい。

そしてもう1つ気になったのが、親子工作教室、しかも要綱の中に親子で参加してくださいというようなことが明確に、必ず親子で参加してくださいと書いてあるんですね。なんかこれ今の時代に合わないんじゃないかなど。

実はシングルマザーとかシングルファザーの家族がものすごく多くなっている時に必ず親子じゃないと参加できないよというのがちょっと酷かなど。ただ責任者という、保護者というのは必要かもしれないけれど、例えばAさん家族のお父さんが出てくる。じゃあBさん家族は親が仕事の関係で出られないけど、子供さんだけ、Aさんのお父さんが責任をもって連れていくから参加させてくださいねということをする案内の仕方をしないと。ちょっと壁を作ってしまうような気がしてなりません。

広瀬総括主幹 このくぼたまさとさんの親子工作教室は昨年度も企画しましたが、コロナの関係で中止になりました。応募はかけたのです。その中でたとえば祖父母とお孫さんと組み合わせはどうですかということは聞かれましたので、それで結構ですと、保護者という概念でとらえておりますので。そういう形については応募を受け付けましたので、そこは個別に対応していきたいと考えております。

松野委員 ただこのパンフレットに必ず親子で参加してくださいと明確に書いてしまうと、問い合わせる人はいいんですけど、もうハナからうちは出られないと判断してしまわれるとちょっと寂しいなという気がします。

広瀬総括主幹 これはまだ出ておりませんので、これからです。

松野委員 これから考えていただければ。

広瀬総括主幹 検討させていただきます。

山本委員 サンコーパレットパークのことでいいですか。私も竣工式の方に出させてもらって、面白い施設があるなということで、実は私の義理の弟の姪を2人その1週間後に連れて行ったんですけど、大変盛況でした。ここにこれだけ人が集まるのかというぐらいいまして、その中で見るとやっぱり必ず小さい子を連れてくると、その若い親がついてきているなということを感じましたので、これだけ集客できるんだったら市の行事であったりだとか、この社会教育も、先ほどの話とかぶるかもしれないんですけど、周知や

広報できる場というのものすごく有効的だなと感じました。

あと子どもたちがやっぱり楽しいのですよね。こういう場で体を使うということで、コロナ禍ではあったんですけど、ああいう笑顔が見られたということはいずれかなと思いましたが、またこれがどんどんどんどんテーマパークじゃないですけど、またちょっとずついろんなものが増えていくとリピーターも増えるかなと思っております。とてもいい施設だなと思って見させていただきました。

井深委員長 長屋委員さん。

長屋委員 みずほピクニック、キッチンカーそれからマルシェ、これはものすごくいいんですけど、物品販売のコーナーに豊住園さん、すみれの家さんですね、社会福祉協議会さんが関係はしているんですけど、出店して物品販売ができたかなと思うんです。なぜかと言いますと、この施設は木曜日に総合センターで出店して販売していらっしゃるんですけども、あまり売れているような感じがしないんです。希望としてはパレットパークへ常設して、そういうコーナーを作って、売り上げ利益が少しでも出れば、それが施設の方の励みになると思うんです。何か社会福祉協議会さんと連携した形の方向へ行っていたらと思いました。

井深委員長 辻委員さん何かありますか。

辻委員 さっき松野さんがおっしゃっていたんですけど、横の連携がちょっと足りていないんじゃないかという話の中で、先日青少年育成市民会議三部会がありまして、教育力向上部会の方はずっとあいさつ運動をメインにそれだけ1つだけ取り組んできたんですけど、本年度から情報モラルとそれから読書推進ということでこちらの3本立てになったんです。

ただ、これもですね、積極的にそうなったわけではなくて、ある意見が出たのを取り入れてそこに入ったんですよ。なので、教育力向上部会というせっかく部会があるのに、今まで瑞穂市の2本立てであるあいさつと読書推進がなんで入っていなかったんだろうという思いはすごくあってですね。やはり案の定いきなり入れたものですから、委員の方はポカーンとして、じゃあ何をすればいいのという形で全然話が前に進まなかったんです。

なので、やはり事前の周知というのもそうなんですけど、準備というんですかね。入れてもらうとありがたいんですけど、そういったものももうちょっと考えていただけたらなと思いますし、考える手段、手立ても何か提案とかしていただけると、もっと委員の皆様にご覧いただけるんじゃないかなと思います。

井深委員長 ありがとうございます。山本委員さん。

山本委員 生涯にわたって学び続けるという形で今年この2年コロナの関係でやっぱりいろんなところで人が集まるのってものすごく難しくなったと思うんですけど、学校もやっぱりオンラインという形でそういったものをさせていただいたんですが、それはやっぱり

生涯学習も一緒かなって実は思っていて、いわゆるインクルーシブでいろんな人が学ぶ力を持つためには、ここに集まらないと学べないだけじゃなくて、自宅にいてもやっぱり学ぶチャンスがあるという調整はしていきたいなとは思っていたんですが、今度私は総合センターの5階の方をお借りして研修会の方を企画しているんですけど、ここでやろうと思うとやっぱりWi-Fi設備がないという形で、いろんなところで他県とのやり取りもやりたいなと思っているんですけど、そうすると持ち込みをしていかなければいけないというのがあるんですけど。たとえば有料で結構ですそういうWi-Fi環境を整えたりとか、ルーターの貸し出しがあったりすると、また研修の内容自体が大きく広がるかなと思いますので、市民センターとか総合センターあたりにそういう設備が整ってくるとありがたいなというのを、今度企画する場に立って思いました。

辻委員　もう1つで。先ほどの連携の話なんですけど。先ほどのビブリオバトル、予算はつかなくても、確か去年は予算がつかなくてもこれはやろうということで今回企画をしていただいたと思うんですが、先ほど校長先生がおっしゃったとおり校長先生というか要するに学校側とどのようにやるかというのは話し合ったうえで決定をされたんですかね。

山本委員　まだ案が出るところで、これから連携するんじゃないかなと思っているんです。

辻委員　もう開催は決定しているけど内容についてはこれから。

山本委員　この方向でたたき台みたいなものは出ていると思うんです。

辻委員　じゃあこれ絶対にやるというわけでは。

広瀬総括主幹　開催はしますが、詳細についてはこれから詰めていくところです。

辻委員　やっぱり先ほど校長先生も言っていましたけど、やっぱりそこってもっとしっかり打ち合わせをしたうえで、私は開催を決めたほうがよかったんじゃないかなとは正直思います。やっぱり先生の負担が増えてしまうことによって、余裕がなくなってしまうと、本来の授業、子どもたちに向き合う時間、これは子どもたちが向き合う1つの取り組みではありますけど、だいぶ時間がそがれるかなと思うので、これから次第かなと思うんですが、しっかり話し合っただけほしいかなとは思っています。

あとついでにネオクラシックコンサート、昨年度私参加させていただいて、うちの子どもも参加したんですけど、やはりすごく高度な技術を聞かせていただいたんですが、やっぱり全然わからなくてうちの子どもは。途中から眠たくなっちゃたりとか、また行きたいと聞いたらあんまり行きたくないと言ったりとかですね。

やっぱり対象年齢をどこに定めているのかというのがちょっと明確ではなかったのかなと思います。瑞穂市の子どもたちに文化、そういった音楽とかを教育といううえで見ていただくのであれば、もっと子どもたち向けのプログラムをもうちょっと考えていただくといいんじゃないかなと思いました。

ただ今回はオペラということで、瑞穂市バージョンということでそのあたりは考えて

いただいて、工夫していただいたんじゃないかと思います。以上です。

井深委員長 もし決まったら校長会の方で事務局の方から説明していただいて、納得するうえで学校にお引き受けしてもらうように。

昨年度のネオクラシックコンサートは岐阜県交響楽団でしたが、「新世界より」でしたので子どもたちというか、一般の人になじんだ曲でした。

辻委員 いや、うちの子どもは全然でした。新世界は知っていましたが、それ以外の曲は全く知らなかったのです。

井深委員長 それぞれですね。私はすごく感動して帰ってきましたけど。ただ今のように今度の会議ですね。いろんなジャンルでやっていくというのが大事なので、今辻委員さんが言われたように、ある時は子どもが本当に親しめるような曲の時もあるし、いろんなジャンルに分けてやられたらいいかなと思います。

辻委員 ついでにお話されたので言いますけど、東京の交響楽団なんかは、対象年齢が本当に小さい3歳ぐらいから設定を明確にしてやっているものですから、やっぱりそういった選曲になっているんですよね。ただ本格的な音楽もやらないわけじゃなくて半分半分ぐらいで入りやすいところから聞いてもらって、本物の音楽はこうだよ、みたいな感じで聞かせやすい形にはしているので、そういった工夫も必要じゃないかなと思っています。

井深委員長 よろしいですかね。

事務局長 すいません1つだけ最後に。先ほど最初に説明しました8ページの(1)生涯学習自主事業の②の文化講演会ですけれども、実はこの社会教育委員の会でこういうテーマで講演会をやっていったらいいんじゃないかというご意見をいただいて、5年ぐらい計画がありまして、昨年は何とか年度末にスポーツのことで朝原さんの講演会ができました。参加した皆さんはコロナ禍でスポーツの重要性もわかって始めたいなというご意見をいっぱいいただいてよかったなと思っています。今年度は読書に関することというテーマで計画をしていましたが、実は市長部局の方から、来年市政20周年を迎えるんですけど、今年度からいろいろな市制20周年の記念事業が始まっておりまして、新年度予算が決まっていたんですけど、この文化講演会を20周年記念事業のイベントとしてやらせてほしいという申し出がありました。ただご存知の通り予算的に厳しいですので、教育委員会の方の文化講演会の予算を活用させてもらって、20周年の方の講演会にさせていただけないかという依頼が来ております。

ただ中身的には、文化講演会の中身とそれほど変わらず、生涯学習とかその辺に関するテーマのようなことをお話になるということは聞いておりますけれども、あとはやはり市長部局としては著名人を呼ぶんですけども、できれば身近な人を呼びたいと。具体的には一番近いところでは県内の著名人で誰かを呼び、それを身近で感じて、実践というかそういうのにつなげていけないかというような思いがあるというお話で、日にちも11月20日で予定をしていきたいということで話が来ております。

社会教育委員さんの方で5年間の計画を立てていますので、ちょっと今年は難しいよという話だったら、市長部局も来年でもという話がありましたけれども、できればこの秋にやらせてほしいということですので、読書のテーマは1年遅らせていただいていいかどうかというのを皆さんにご意見をお伺いしたいんですけども。

井深委員長　という説明がありました。

辻委員　私はもう全然賛成ですよ。

井深委員長　身近な人でよく知っている人でね。たくさん来てくださる可能性が高いのです。

辻委員　それは近くの方を優先するのか、その20周年の講演内容を優先するのかというのはどちらになるんですか。

事務局長　両方ですね。講演内容もそうですけれども、できれば地元の人、より親しみがあるような人を呼びたいという話です。どちらかと言われればうちは両方重要視してほしいですけれども、やはり地元の方というところがちょっとは優先になるかもしれないです。

辻委員　知名度関係なくということですか。

事務局長　ですから知名度のある方から。

辻委員　知名度があって、地元近くて、そういう方を。

事務局長　まずは県内の人ということで。スポーツ関係で言えばプロでやってみえた方とか。現役の人はたぶん難しいので、かつてプロでやってみえた方とか。それなりに名前が通っている方から探していく。県内でもしいなければ東海地区になるかもしれませんが、極端なことを言うと去年の朝原さんは京都の方で、遠方からじゃなくて、より身近なところの方でやりたいという考えということです。

松野委員　いいですか。今この場で発表されたのでいいと思うんですけど、先ほど言ったように20周年の企画の方でやっているのでも部局が違っていると、情報がなかなか。事務局長から今日その他で出されて、本来であれば一番最初に出てくるようなものなんですけれども、ちゃんと出していただいたのでいいんですけども、やっぱりこういうことなんです。20周年は向こうでやっているから向こうが主導だという。

実は私このあともう1つ質問を挙げたかったのは、20周年の実行委員会の委員長を受けているんですけど、あるイベントをやりたいと。考えてくれと言われて、2つほど方針は決まったんですけど、その中でもやっぱり教育委員会と密接に関係するイベントがあるんですね。それをちゃんと教育委員会と連絡とって一緒にやっとなと事務局に言ったんですけど、なかなかそこらへんが。縦割りの壁が厚くてうまくいっていないようなこともちらっと聞きました。

先ほど、すいません話を途中でとっちゃって申し訳ないんですけど、まずそちらの方はほとんど皆さんからの意見を聞いていただいて進めていけばいいと思います。朝原さんを推薦したのは私自身ですけれども、そういうことで皆さん情報を持ってみえるのでいいと思います。

それで、話を自分の方に戻すんですけど、20周年で何をやっていくかというときに、1つはプロモーションビデオというか、瑞穂市を紹介するビデオを作ろうと、動画を作ろうということで、それはプロに任せてやるというだいたいの方針は決まりました。

もう1つは軽スポーツを何かやりたいと。その中で今3種類の候補が上がっていて、瑞穂市のスポーツ推進委員が考えたと言われるゲートゴルフ、ゲートゴルフは、いつからじゃあ考案したのと聞いたら、もう20年来らしいですね。ゲートゴルフ。全然浸透していないんですよ。話は聞いたことあるんだけど、4、5年前にできたのかなと思ってたら、もう20年ぐらいの話だと。しかも瑞穂市が発祥だという自称なんですけど、実は全国的に3つの町がうちが発祥だと手を挙げているというような、富有柿と一緒にうちが発祥だというようなことらしいんですけど。それをもっと20年もやっているなら何か方法があったんじゃないかなと、浸透させるのに。

レクリエーション的な競技なので、レクリエーション協会にじゃあそれがあるかというところ、瑞穂市のレクリエーション協会にはないんですよ。それで体育協会にもないし。これはもう自分たちの体育協会の悪いところもあるんですけど、スポーツ推進委員との連携が取れていないんですよ。体育協会はスポーツ推進委員さんは独自の活動をやってみる。それに全然関わりがないという自己反省があるんですけど。今回ぜひ協力してやってもらわないといけないねという話をしていて、教育委員会を通じてぜひ話をしてくださいねという話を今しているところなんですよ。

ゲートゴルフをやるのか、モルックをやるのか、ボッチャをやるのか。来月委員の中で体験してみないとわからないからということで、みんな未経験なのでどんなものかということで。実際に体験してみてじゃあどれがあるかというのを決めていこうということにしています。

ゲートゴルフがやれるかどうかというのはわかりませんが、会場もここもあるし、ここでできるような種目がいいなと考えています。そういった意味でも連携をとっていきたいと思いますので、20周年の方の部局と教育委員会がうまく連携取っていただければありがたいなと思います。よろしくお願いします。

井深委員長 ということです。連携ということをしびやにしないと、やっぱりいろんな問題が生じてくるので、一番大事だと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

時間がどんどん押してしまったので次へ行きたいと思いますがよろしいですか。次は議事の4で社会教育委員としての事業分担について事務局から説明していただきます。

広瀬総括主幹 資料32ページをご覧ください。皆様方の職務につきまして条例(1)社会教育に関する計画の立案とあります。そこで今年度瑞穂大学について検討をお願いします。その資料中ほどに各委員さんのお名前がありまして、いつもここにはどの事業でということと分担をさせていただきますが、今回につきましては瑞穂大学の寿、女性、脳力活性学部に分けないで、33ページから37ページまで各学部の年間の予定を記載しております

すので、都合の良いときにその学部の講座の様子を見ていただいて、そのうえで検討する機会を設けたいと思っております。

実際に宇野委員さんは参加していただいておりますのでよくご存知かと思うんですけど、たぶん皆さんなかなか見る機会はないかと思うんですけども、都合をつけていただいてぜひ来年度に向けて、より良い学びのある瑞穂大学にしていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。以上です。

広瀬委員 ちょっといいですか。この瑞穂大学ですけど、これを開催しているときに勝手にサッと入って見学というか。

広瀬総括主幹 受付で社会教育委員さんということで申し出ていただければ。

井深委員長 これ去年はネオクラシックコンサート部会と、もう1つは、

広瀬総括主幹 瑞穂演劇祭ですね。

井深委員長 演劇祭に分かれて、その中で開催日を、僕らだったらネオクラシックだったら上野さんがキャップになっていついつ集まろうねとやっていたんです。そのことについて。今度は全員でやるの。

広瀬総括主幹 はい。その予定です。

井深委員長 全員で会合をするの。これは誰が決めるの。会合の日は。

広瀬総括主幹 日程ですか。これはですね井深先生にご相談させていただいて。

井深委員長 それで事務局が。

広瀬総括主幹 案内を出します。

井深委員長 わかりました。よろしいですか。できるだけ瑞穂大学に参加していただいて、これについて今後の在り方を研究したり、検討したり、ということです。

辻委員 次の集まりをだいたいおおよそ決めていただかないと、それまでに見に行かないといけな。見ないと全く分からないので、いつまでに見に行かないといけなかという予定が立てづらいいんですけど。

広瀬総括主幹 10月にその部会を開きますので、9月までをお願いいたします。

辻委員 9月までに一度見に行く。

井深委員長 9月までに一度は見ていただいて、参加していただいて10月のどこかで会合を開くということをお願いします。

ではその次です。いいですかね。文化講演会も言ってもらいましたが、関係の大会とかありましたかね広瀬さん。

広瀬総括主幹 時間が来ておりますので簡単に。資料38ページに今年度の岐阜県および岐阜地区の社会教育関係の事業が記載しております。それぞれ日にち、会場等ありますので、社会教育委員さんとしての研修の機会ですので、できるだけ皆さんの参加をお願いいたします。また詳細が決まりましたらご案内させていただきます。よろしくお願いいたします。

井深委員長 よろしいでしょうか。それではもう少し時間とって、言い足りない方がありましたら。

宇野委員 市史が編さんされるということで、これはたぶん学校にも配られると思うんですけど、学校の先生方にぜひ全員見るというのはなかなか時間がないけど、例えばちょっとペラペラでも、やはり歴史がこのように変わってきたということを、学校の先生にぜひ、そして生徒にもやはり自分のまちを愛するという気持ちをぜひ育ててもらいたいと思います。せっかくの高額なお金をかけて出版されるので。

井深委員長 出版される本は、お金で売るという方法もあるし、じゃあお金のない人は全然それに触れることはできないのか。図書館にはある。

事務局長 図書館に置きますし、あと県内全市町村に送りますし、県内の公立図書館にも送ります。

井深委員長 じゃあ学校は。

事務局長 学校も1冊は。

井深委員長 学校の図書館にも行く

事務局長 図書館に置いてもらえるかどうかはわかりませんが、職員室や校長室かもしれません。

井深委員長 一般家庭には配布は無理ですか。

宇野委員 もちろんされますよね。

事務局長 ないです。

宇野委員 ないの根拠は

事務局長 根拠というか今までも市史はないので。

井深委員長 前はあったんです。うちにも。そんなに分厚くないやつがあったんです。

事務局長 それは前回言われましたので、一応今のこの市史も 20 周年を記念して出しますので。今度は本当に文字ばかりの冊子と、写真をまとめたようなもので 2 部構成で出ていますので、そのうちの写真の部分で、全部はできませんけれども、せめて瑞穂市の 20 年のその辺のところの写真集みたいなものは全戸配布できないかというのは今検討していただいております。

井深委員長 せっかくいろんな先生が集まって、一生懸命作られて、いい財産が残ったので、僕は簡素化したものでもいいので、全家庭に配ってほしいですね。正確なものは図書館や学校の図書室で見ればいいけど、うちにも何らかのものが欲しいなと思います。配っていただけると。館長さんぜひその方向でお願いします。

ではよろしいでしょうか。では全部議題については終わりましたので事務局の方に司会を返したいと思います。よろしくお願いします。

生涯学習課長 閉会の言葉の方を佐藤事務局長の方からお願いしたいと思います。

事務局長 長時間にわたりまして慎重にご審議いただきましてありがとうございました。またいろいろ貴重なご意見いただきありがとうございます。今後の参考にさせていただきたいと思っています。

では本日は大変お忙しい中ありがとうございました。これを持ちまして終わりたいと思います。